

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	加古川中央市民病院 増築・改築整備事業	階数	地上7F
建設地	兵庫県加古川市加古川町本町439番地	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年7月22日
敷地面積	3,331 m ²	作成者	伊達翔
建築面積	1,082 m ²	確認日	2022年7月22日
延床面積	6,460 m ²	確認者	石井真由美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 本物件は、加古川市に計画された総合病院である。高効率の設備機器を採用することで建物全体のエネルギー使用量の削減に貢献している。 		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 開口部の遮音性能はT-2とし、居住者の音環境に配慮している。 全館禁煙とし、非喫煙者が煙に曝されないよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 病室の一人当たりの床面積を広く、階高や天井高を確保し、居心地・快適性に配慮している。 免震構造の導入により、耐震性に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成及び生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 LED照明等の高効率な設備機器を導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 節水型器具の採用により、節水に配慮している。 リサイクル材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される